

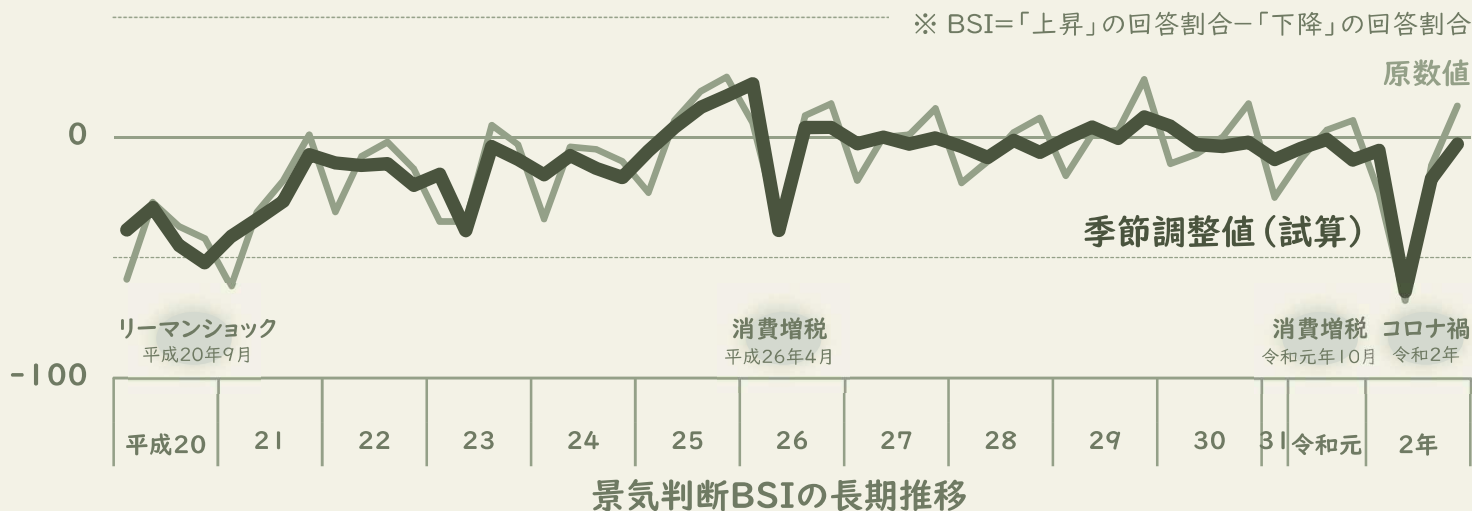


における県内の景況感

—企業経営者見通し調査から—

鳥取県企業経営者見通し調査では、県内の経営者の方々に各業界の景気と経営に関する現状判断や見通しを伺っています。結果から、経営現場のマインドを指標化します。

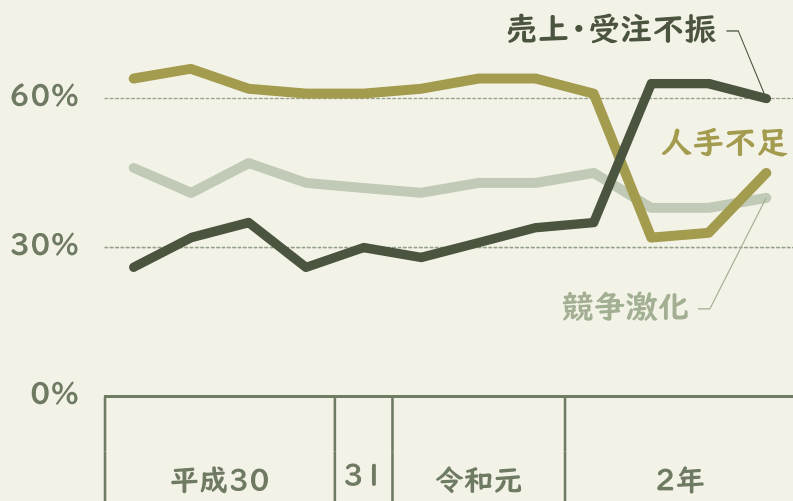
◆ 令和2年第2四半期は過去最悪の景況感



令和2年第2四半期(5月1日付)の調査結果によると、業界の景況感を示す「景気判断BSI」は調査開始(平成6年)以来の最低水準を記録。新型コロナウイルス感染症は、かつてのリーマンショックや消費増税よりも暗い影を県内の景況に落としたようです。

第4四半期(11月1日付)の調査ではプラスに転じましたが、BSIは毎年第4四半期に上向きクセがあります。こうした季節性を統計的手法で除去した「季節調整値」を算出すると(未公表の試算)、なお若干のマイナス。先行き不安感は根強いようです。

◆ 経営上の問題点として「売上・受注不振」が増加



本調査には「自己企業の経営上の問題点」を伺う設問もあります。

近年は「人手不足」の回答割合が大きかったのですが、令和2年第2四半期からは代わって「売上・受注不振」の回答割合が最大となっています。

鳥取県

令和新時代創造本部 統計課

<https://www.pref.tottori.lg.jp/toukei/>